corega

Wireless LAN APM-11

取扱説明書・簡単編

http://www.corega.co.jp/

Multi-mode Wireless Access Point

PN J613-M7144-00 Rev.A 020610

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

交流 100V の電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

付属の AC アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。
必ず、付属の AC アダプターを使用してください

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

AC アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな　中性洗剤使用　堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

シンナー類不可

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また設置の前に、「安全のために」（2 ページ）を必ずお読みください。

- 心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等についてご相談して下さい。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターにお問い合わせ下さい。

目次

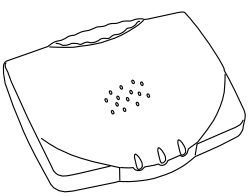
電波に関する注意 4
目次 5
はじめに 6
パッケージ内容をご確認下さい 6
1 本製品の概要 7
1.1 特長 7
1.2 本製品設定に必要な条件・環境 8
1.3 各部の名称と機能 9
1.4 本製品の動作モード 11
1.5 本製品の工場出荷時設定について 13
1.6 設定手順の流れ 14
2 パソコン側の設定 14
2.1 TCP/IP の設定 15
2.2 無線 LAN カードの設定 15
2.3 設定ユーティリティーのインストール 16
3 本製品の取り付け・準備 18
3.1 アンテナの取り付け 18
3.2 設定用パソコンと本製品の接続 19
3.3 本製品と設定用パソコンの起動 20
3.4 USB ドライバーの確認 21
4 本製品の設定 22
4.1 パスワードの確認・入力と本製品への接続 22
4.2 TCP/IP の設定変更 23
4.3 ワイヤレスの設定を変更する (「アクセスポイント」モード) 25
4.4 暗号化の設定をする 26
4.5 パスワードを変更する 27
4.6 初期設定に戻す 28
4.6.1 UTP ケーブルまたは無線 LAN カード経由の場合 28
4.6.2 USB ケーブル経由の場合 29
4.7 ネットワークへの接続 29
5 その他 30
5.1 製品仕様 30
5.2 保証と修理について 31
5.3 ユーザーサポートについて 31
5.4 おことわり 33

はじめに

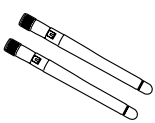
この度は、「corega Wireless LAN APM-11」無線 LAN 用アクセスポイントをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。また、製品保証書も兼ねておりますので、大切に保管くださいますようお願いいたします。

パッケージ内容をご確認下さい

本製品のパッケージ内容は下記の通りです(下記以外に添付紙が同梱されている場合があります)。パッケージについてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまでご連絡ください。

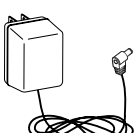


corega Wireless LAN APM-11本体



取付用アンテナ x 2

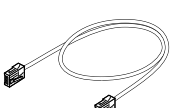
ユーティリティーディスク(CD-ROM)



ACアダプター

本書

シリアル番号シール



UTPケーブル(ストレート)

USBケーブル(ABタイプ)

パッケージ内容の確認

1 本製品の概要

本章では、本製品の特長、設定の際に必要な環境、各部の名称と機能、動作モード、本書の構成について紹介します。

1.1 特長

- 設定ユーティリティーによる設定で設定作業が簡単
- DHCP クライアント機能をサポートすることにより、IP アドレスを自動取得可能
- 「複数 LAN 間接続」、「アクセスポイント」、「Infrastructure」および「LAN 間接続」の 4 つの動作モードをサポートすることにより、様々な用途に使用可能

ヒント 各動作モードについては P.11「1.4 本製品の動作モード」に説明があります。

- 2.4GHz 帯の小電力通信システムを使用しているため無線免許が不要
- 直接拡散変復調によるスペクトラム拡散方式（DS-SS）の採用によりノイズにも強い
- IEEE802.11b に準拠し、無線上での通信速度 11Mbps の通信が可能
- 通信可能距離は、屋外 150m/ 屋内 50m（送信速度 11Mbps 時には、屋外 60m/ 屋内 30m）

ヒント 通信距離は理論上のものです。実際の数値はご使用の環境によって異なります。

- 1～14チャンネルを切り替えて使用することができるので、チャンネルごとのワークグループの設定も可能
- 64bit WEP、128bitWEP による暗号化機能と ESSID によるグループ識別機能、また MAC アドレスフィルタリング機能によりセキュリティ対策も万全
- 良好な通信状態を得られるように、2 本のアンテナを内蔵し、通信状況に応じて切り替えて使用
- 動作状態を表示する LED を装備

1.2 本製品設定に必要な条件・環境

本製品を設定する際に必要な条件は以下の通りです。

- 製品設定ユーティリティーをインストールする設定用パソコン 1 台
- 設定用パソコンにWindows 98/Me/2000/XP(Home Edition または Professional Edition(32bit)) がインストールされていること

注意 本製品の動作が保証されているのは、上記 OS がプリインストールである場合のみです。Windows 95 から Windows 98/Me/2000 へアップグレードした場合の動作についてはサポート対象外になります。

- 設定用パソコンと OS が USB をサポートしていて、かつ設定用パソコンに USB ポートが装備されていること

ヒント USB ケーブル経由で工場出荷時の状態に戻す際に必要です。

- 設定用パソコンでLANカードまたは802.11b対応無線LANカードが正常に動作すること
- クロスタイプの UTP ケーブル 1 本 (本製品とパソコンを直接接続する場合)

ヒント クロスタイプの UTP ケーブルをご使用になる際は、カテゴリー 3 以上のものをご用意下さい。

ヒント 本製品に付属の UTP ケーブルはストレートタイプです。クロスタイプの UTP ケーブルは別途お客様にて ご用意していただく必要があります。詳細については、P.19「3.2 設定用パソコンと本製品の接続」を参照してください。

ヒント ハブ、スイッチ等を介して本製品と設定用パソコンを接続する場合はクロスケーブルは必要ありません。詳細については、P.19「3.2 設定用パソコンと本製品の接続」を参照してください。

1.3 各部の名称と機能

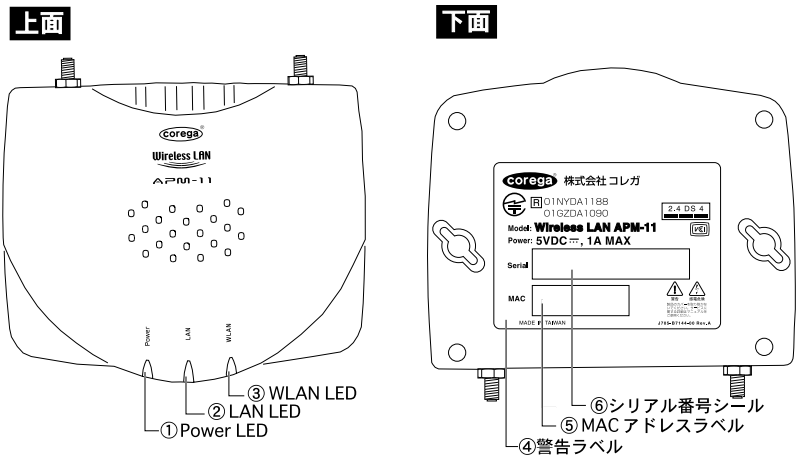


図 1.3.1　　各部の名称と機能

①Power LED(緑) - 電源と本体の状態を確認できます。

点灯時 : 電源が正常に供給されている状態
消灯時 : 電源が供給されていない状態

②LAN LED(緑)　- 10BASE-T(LAN) ポートの通信状態を確認できます。

点灯時 : 有線 LAN とのリンクが確立している状態
消灯時 : 有線 LAN とのリンクが不確立の状態

③WLAN LED(緑) - 無線電波の状態を確認できます。

点滅時 : 無線電波を感知している状態
消灯時 : 周辺に無線電波がない状態

④警告ラベル - 本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読み下さい。

⑤MAC アドレスラベル - 本製品の MAC アドレスが記載されています。

⑥シリアル番号シール - 本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。

背面

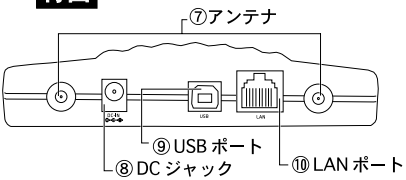


図 1.3.2 各部の名称と機能

⑦アンテナ - 本製品は 2 本のアンテナを内蔵しています。また、ねじ部分に付属の取付用アンテナを取り付けるとより良好な通信状態を得ることができます。

⑧DC ジャック -AC アダプターを接続するジャックです。

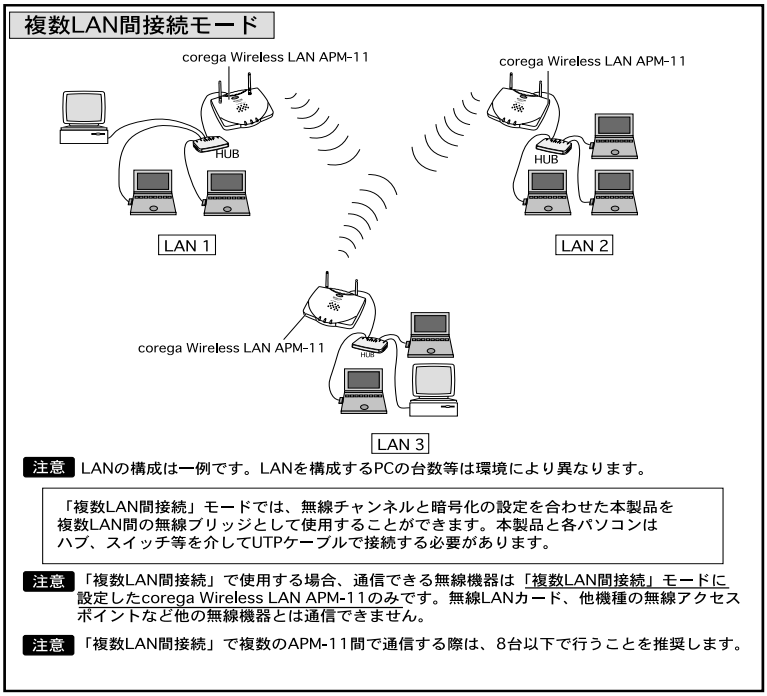
⑨ USB ポート - コネクタの形状は B タイプです。付属 USB ケーブルの B タイプ側を差し込んでください。

⑩LAN ポート -10BASE-T(RJ-45)、MDI の規格です。UTP ケーブル (カテゴリー 3 以上) を接続してください。

1.4 本製品の動作モード

本製品の 4 つの動作モードの構成について紹介します。

ヒント 設定作業の手順の説明については、本書では「アクセスポイント」モードの設定方法のみ説明します。



注意 LANの構成は一例です。LANを構成するPCの台数等は環境により異なります。

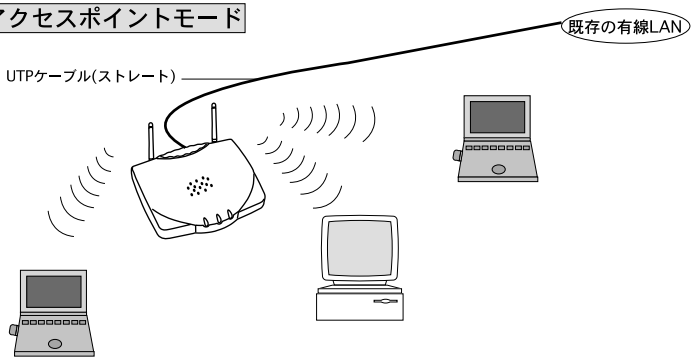
「複数LAN間接続」モードでは、無線チャンネルと暗号化の設定を合わせた本製品を複数LAN間の無線ブリッジとして使用することができます。本製品と各パソコンはハブ、スイッチ等を介してUTPケーブルで接続する必要があります。

注意 「複数LAN間接続」で使用する場合、通信できる無線機器は「複数LAN間接続」モードに設定したcorega Wireless LAN APM-11のみです。無線LANカード、他機種の無線アクセスポイントなど他の無線機器とは通信できません。

注意 「複数LAN間接続」で複数のAPM-11間で通信する際は、8台以下で行うことを推奨します。

図 1.4.1「複数 LAN 間接続」モードの構成

アクセスポイントモード

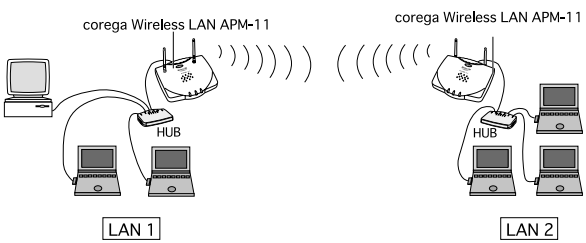


注意 LANの構成は一例です。LANを構成するPCの台数等は環境により異なります。

アクセスポイントモードでは、既存の有線LAN環境と本製品を使用する無線LAN環境間の通信が可能になります。無線LAN側のパソコンに取り付けられたIEEE 802.11b準拠の無線LANカードは「Infrastructure」モードに設定し、ESSID(SSID)の設定を本製品と同じにする必要があります。

図 1.4.2「アクセスポイント」モードの構成

LAN間接続モード

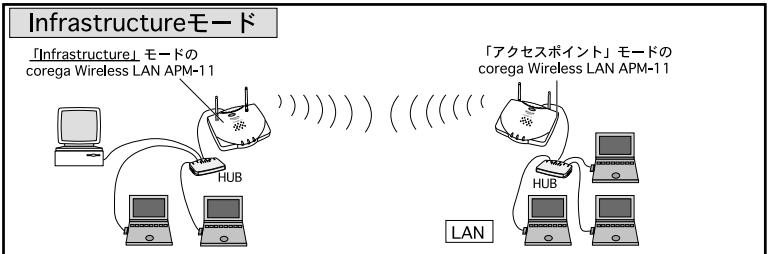


注意 LANの構成は一例です。LANを構成するPCの台数等は環境により異なります。

「LAN間接続」モードでは、お互いの機器のMACアドレスを接続先として設定した本製品を2つのLAN間の無線ブリッジとして使用することができます。本製品と各パソコンはハブ、スイッチ等を介してUTPケーブルで接続する必要があります。

注意 「LAN間接続」で使用する場合、「LAN間接続」モードに設定した2台のcorega Wireless LAN APM-11の通信のみ可能です。無線LANカード、無線アクセスポイントなどの他の機種との通信、本製品3台以上での通信はできません。

図 1.4.3「LAN間接続」モードの構成



注意 LANの構成は一例です。LANを構成するPCの台数等は環境により異なります。

「Infrastructure」モードでは、「Infrastructure」モードに設定したcorega Wireless LAN APM-11に接続されたパソコンから、別の「アクセスポイント」モードで動作するcorega Wireless LAN APM-11で構成されているLANとの通信が可能になります。

注意 「Infrastructure」モードに設定されたcorega Wireless LAN APM-11から接続する無線LAN内のcorega Wireless LAN APM-11は「アクセスポイント」モードとして動作している必要があります。また、corega Wireless LAN APM-11以外のアクセスポイントとは通信できません。

注意 「Infrastructure」モードの本製品と1台のパソコンを接続する際は、クロスタイプのUTPケーブルで接続する必要があります。なお、本製品に付属しているUTPケーブルはストレートタイプです。

図 1.4.4「Infrastructure」モードの構成

1.5 本製品の工場出荷時設定について

本製品の工場出荷時設定は以下の通りです。

チャンネル	6
ESSID	corega
ホスト名	APM-11
IPアドレス	192.168.1.230
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
パスワード	corega
DHCPクライアント	disable
優先ポート	Ethernet

図 1.5.1 工場出荷時の設定

1.6 設定手順の流れ

設定手順の流れは以下の通りです。

パソコン側の設定
- ●有線LANカードで接続したパソコンで本製品を設定する場合
  - ・TCP/IPの設定
  - ・ユーティリティーのインストール
- ●無線LANカードで接続したパソコンで本製品を設定する場合
  - ・無線LANカードの設定
  - ・TCP/IPの設定
  - ・ユーティリティーのインストール

本製品の設定
- ・付属アンテナの取付
- ・設定用パソコンと本製品の接続
- ・設定用パソコンと本製品の起動
- ・USBドライバの確認
- ・ユーティリティーの操作

図 1.6.1 設定手順の流れ

2 パソコン側の設定

本製品を設定するためには、設定用のパソコン（以下、設定用パソコン）を準備する必要があります。設定に使用するパソコンの条件は以下の通りです。

●有線 LAN カードを搭載したパソコンを使用する場合

- Windows 98/Me/2000/XP がインストールされていること
- USB をサポートしていて、かつ USB ポートを装備していること
- 10BASE-T 対応の LAN カードがインストールされていて正常に動作すること

ヒント LAN カードのインストールについては、ご使用の LAN カードの取扱説明書を参照してください。

●無線 LAN カードを搭載したパソコンを使用する場合

- Windows 98/Me/2000/XP がインストールされていること
- USB をサポートしていて、かつ USB ポートを装備していること
- 802.11b 対応の無線 LAN カードがインストールされていて正常に動作すること

ヒント 無線 LAN カードのインストールについては、ご使用の LAN カードの取扱説明書を参照してください。

2.1 TCP/IP の設定

本製品を設定するためには、設定用パソコンに搭載しているLANカードの TCP/IP 設定を以下のように行う必要があります。

・IP アドレス :192.168.1.1 ～ 192.168.1.254(192.168.1.230 を除く)

・サブネットマスク :255.255.255.0

ヒント 設定方法については、ご使用の LAN カードの取扱説明書、または OS の取扱説明書を参照してください。

ヒント 設定パソコンの TCP/IP 設定を変更し、本製品をご使用の環境に合わせて設定したら設定用パソコンの TCP/IP の設定も元に戻してください。

2.2 無線 LAN カードの設定

ヒント 有線 LAN カードをご使用の場合は、P.15「2.2 無線 LAN カードの設定」の手順は読み飛ばしてください。

初めて本製品を無線 LAN カードを搭載したパソコンから設定するためには、本製品の工場出荷時設定にあわせて、設定用パソコンに搭載している無線 LAN カードの設定を以下のように行う必要があります。

・ESSID(SSID):corega　・WEP: 設定しない　・動作モード:Infrastructure

ヒント 設定方法については、ご使用の無線 LAN カードの取扱説明書を参照してください。

ヒント 本製品をご使用の環境に合わせて設定したら、無線 LAN カードも本製品の設定内容に合わせて設定し直す必要があります。

2.3 設定ユーティリティーのインストール

本製品の設定には、2 種類のユーティリティーを使用しますが、下図のようにそれぞれ機能と接続方法が異なります。

ユーティリティー名	機能	接続方法
設定ユーティリティー(ネットワーク)	アクセスポイントの設定	UTPケーブルまたは無線
初期化ユーティリティー(USB)	工場出荷時の設定に戻す	USBケーブル

図 2.3.1 各ユーティリティーの機能と接続方法

ユーティリティーは付属の CD-ROM 内から設定用パソコンにインストールします。

ヒント ユーティリティーをインストールすることによって、本製品の USB ドライバーが自動的に生成されますので、初めて本製品を起動する際は、先にユーティリティーをインストールしてください。

(1) 設定用パソコンの CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入すると、「corega Wireless LAN APM-11 ユーティリティーインストール」画面が表示されます。

ヒント 自動的に表示されない場合は、マイコンピュータ内でパソコンの CD-ROM ドライブ名をダブルクリックしてください。

(2) 2 つの項目にチェックを付けて「OK」をクリックします。

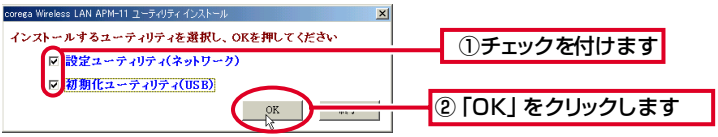


図 2.3.2

(3)「次へ」をクリックします。

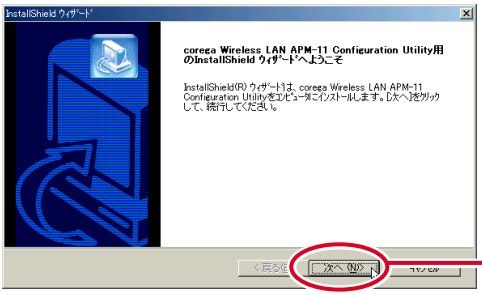


図 2.3.3

(4) 任意の「ユーザ名」「会社名」を入力して「次へ」をクリックします。

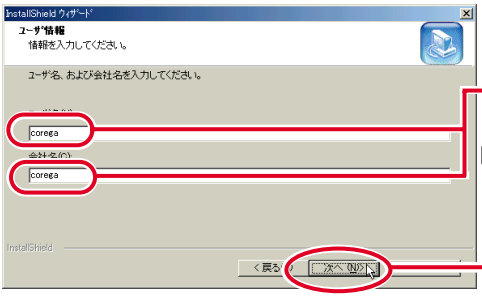


図 2.3.4

(5)「次へ」をクリックします。

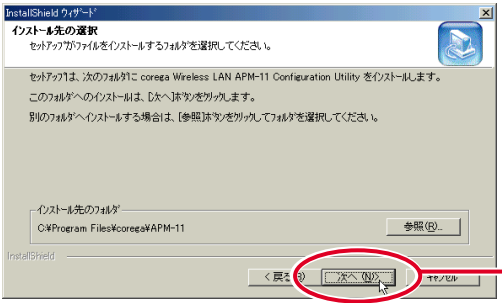


図 2.3.5

(6)「次へ」をクリックします。

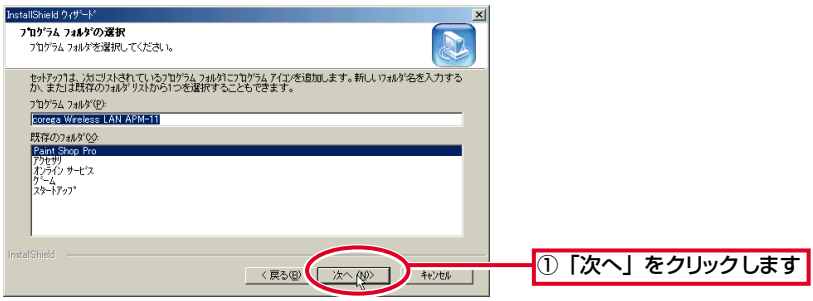


図 2.3.6

(7)「完了」をクリックすると「Factory Restore Utility」 のインストールが始まりますので、メッセージに従いながら(3)から(6)の手順と同様の操作をしてください。CD-ROM を設定用パソコンの CD-ROM ドライブから抜いたらインストールは終了です。

3 本製品の取り付け・準備

3.1 アンテナの取り付け

(1) 付属のアンテナを内蔵アンテナに挿し、右に回して奥までしっかり取り付けます。

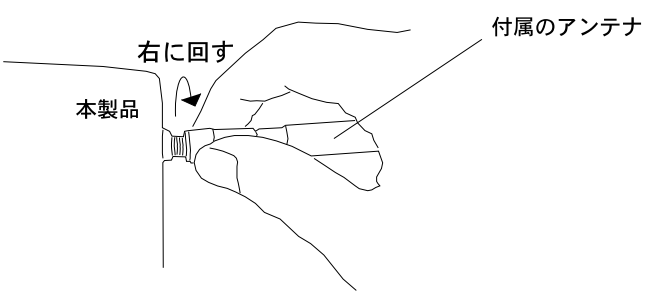


図 3.1.1 アンテナの取り付け

(2) 2 本のアンテナの取り付けが終了したら、以下のようにアンテナを立てて、取り付け完了です。

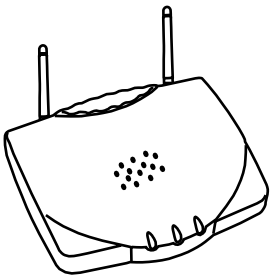


図 3.1.2 取り付け完了

ヒント アンテナを取り付けなくても通信は可能ですが、アンテナを取り付けた状態でのご使用を推奨します。

3.2 設定用パソコンと本製品の接続

ヒント 作業を始める前に以下のヒントを必ずお読み下さい。

- 無線 LAN カード搭載の設定パソコンから設定を行う場合は UTP ケーブルの接続は必要ありません。USB ケーブルの接続のみ行ってください。
- 本書では、設定用パソコンと本製品を直接 UTP ケーブルで接続する手順を説明します。この場合には、本製品および付属のケーブル以外にクロスタイプの UTP ケーブルが必要になりますので、お客様にてご用意下さい。
- ハブ、スイッチ等を介して設定用パソコンと本製品を接続する場合はクロスタイプの UTP ケーブルは必要ありません。なお、その場合のハブ、スイッチ、パソコン、本製品の接続の方法については本書では触れません。参考書等を参照して接続を行ってください。
- 本製品は通常の設定は UTP ケーブルまたは無線 LAN カード経由で行うことができますが、その方法で本製品にアクセスできなくなった場合に、USB ケーブル経由で工場出荷時の設定に戻す作業を行います。

(1) 本製品に USB、UTP ケーブルを接続します。

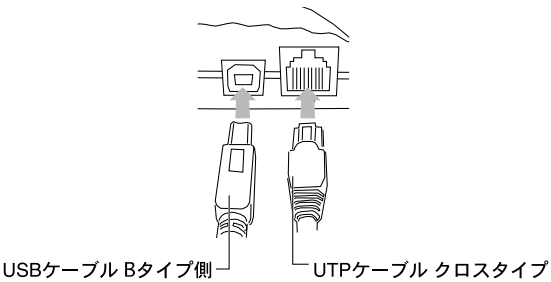


図 3.2.1 ケーブルの接続

(2) USB ケーブルの A タイプ側、UTP ケーブルの反対側をパソコンの USB ポートと 10BASE-T ポートに接続したら、本製品と設定用パソコンの接続は終了です。

ヒント 無線 LAN カード搭載の設定パソコンから設定を行う場合には、UTP ケーブルの接続は必要ありません。

3.3 本製品と設定用パソコンの起動

(1) 付属の AC アダプターの DC プラグを本製品の DC ジャックに差し込み、AC アダプターをコンセントに接続すると本製品の Power LED が点灯します。

(2) 設定用パソコンの電源を入れると、本製品の LAN LED が点灯します。

ヒント UTP ケーブルの接続をしていない場合は、LAN LED は点灯しません。

ヒント 設定用パソコンが Windows 2000/XP の場合は、ログオン時には「Administrator」権限または「コンピュータの管理者」権限を持つユーザー名でログオンしてください。ユーザー権限については、OS の取扱説明書を参照してください。

(3) OS が本製品を検出して、USB ドライバーのインストールを自動的に完了します。

ヒント 自動的にインストールが完了しない場合は、P.16「2.3 設定ユーティリティーのインストール」を参照して、ユーティリティーのインストールを再度行ってください。

3.4 USB ドライバーの確認

USBドライバーは、USB 経由で本製品を工場出荷時の設定に戻す際に必要なドライバーです。通常はユーティリティーをインストール後、本製品を初回起動時に自動的にインストールされます。

ヒント 本書では、Windows Me の画面例を使用して手順を説明します。

(1)「マイコンピュータ」を右クリックして「プロパティ」を選択します。

(2)「デバイスマネージャ」タブを表示して本製品名が表示されていれば、インストールは正常に完了しています。

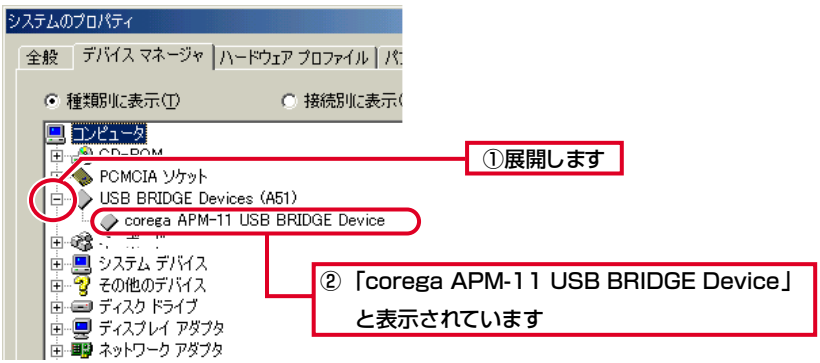


図 3.4.1 ドライバーのインストールが正常に完了している場合

ヒント インストールが正常に完了していない場合（下図参照）は、P.16「2.3 設定ユーティリティーのインストール」の手順を再度行ってみてください。

図 3.4.2 ドライバーのインストールが失敗している場合

ヒント ドライバーの確認が終了したら、通常使用する際は USB ケーブルを外して使用してください。

ヒント USB ケーブル経由で工場出荷時の設定に戻す作業を行う場合のみUSB ケーブルの接続を行ってください。

4 本製品の設定

以下の操作方法について説明します。

- 本製品に接続する
- 本製品の TCP/IP の設定を変更する
- ワイヤレスの設定を変更する（「アクセスポイント」モードの設定）
- 暗号化の設定をする
- パスワードを変更する
- 工場出荷時の設定に戻す

注意 設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働している場合、設定に失敗する場合がありますので、一時的に停止して設定を行い、設定が終了したら再度稼働させて下さい。停止、稼働の方法については、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照して下さい。

ヒント ワイヤレスの設定については、本書では「アクセスポイント」モードの設定のみ説明します。

ヒント 本書で紹介する設定は一例です。実際にはご使用の環境に合わせて設定してください。

4.1 パスワードの確認・入力と本製品への接続

本製品の各設定は必ずこの手順を実行してから行います。

(1)「スタート」→「プログラム」→「corega Wireless LAN APM-11」→「設定ユーティリティー（ネットワーク）」を選択してユーティリティーを起動します。

(2)「検索用パスワード」ボタンをクリックします。

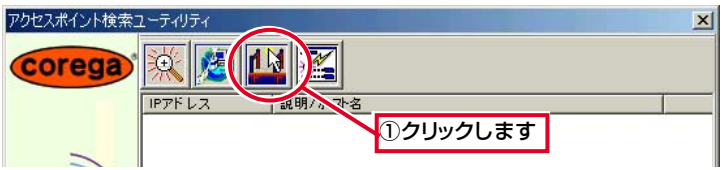


図 4.1.1

(3)「検索用パスワードの設定」画面が表示されたら、パスワードを確認し「OK」をクリックします。パスワードの初期設定は「corega」です。

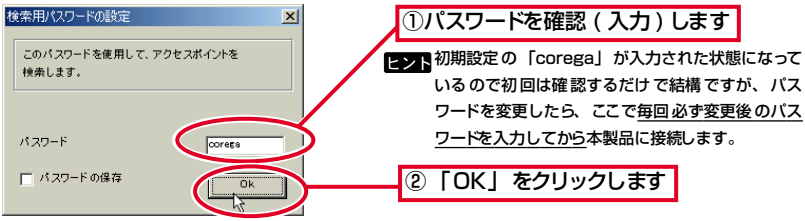


図 4.1.2

(4)「検索」ボタンをクリックすると本製品が検出されます。

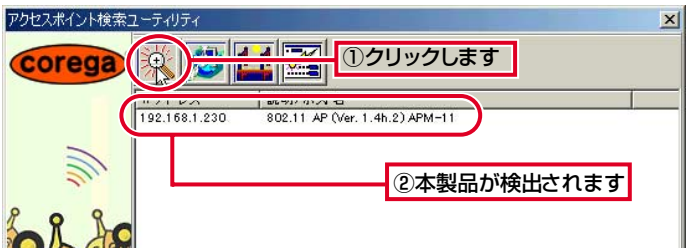


図 4.1.3

4.2 TCP/IP の設定変更

ここでは、TCP/IP の設定を以下のように変更するものと仮定して説明します。

・IP アドレス :192.168.1.100　　・サブネットマスク :255.255.255.0
・ゲートウェイ :192.168.1.1

ヒント 本書の設定値は一例です。実際には接続するネットワーク環境に合わせた TCP/IP の設定を行ってください。

(1) P.22「4.1 パスワードの確認・入力と本製品への接続」の手順を実行します。

(2) 設定するアクセスポイントを選択し、「セットアップ」ボタンをクリックします。

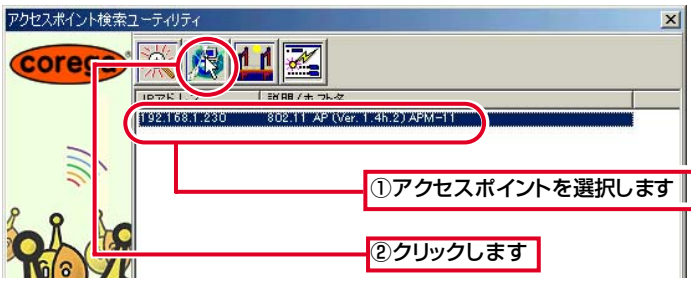


図 4.2.1

(3)「IP」設定タブを表示します。

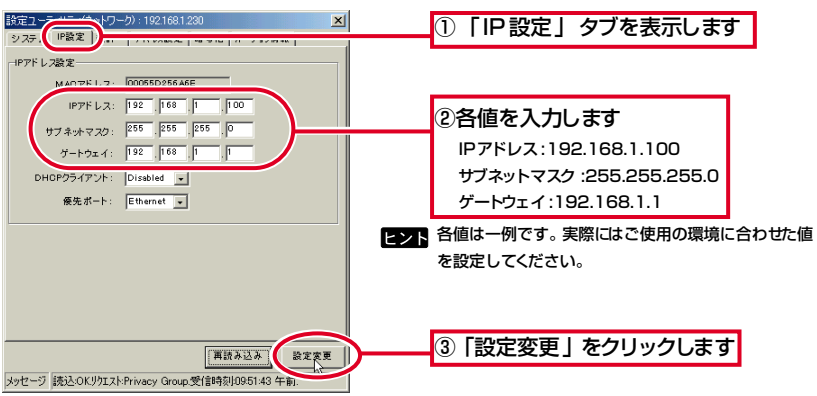


図 4.2.2

(4) ウィンドウ右上の「閉じる」をクリックします。

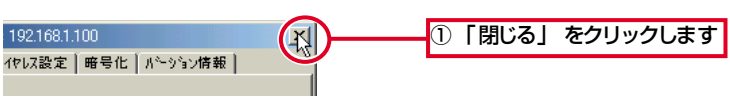


図 4.2.3

(5)「システムをリセットしますか」という内容のメッセージが表示されるので「はい」をクリックして設定を有効にします。

ヒント (4)、(5) の手順を実行しないと設定が有効になりませんので必ず実行してください。

4.3 ワイヤレスの設定を変更する（「アクセスポイント」モード）

ここでは、ワイヤレスの設定を以下のように変更するものと仮定して説明します。

・チャンネル :5　・ESSID:corega1　・ホスト名 :APM-11
・転送速度 :Fully Automatic　・通信モード : アクセスポイント

ヒント ESSID を変更しなくても、本製品はご使用になれますがセキュリティ上変更して使用することを推奨します。

ヒント ESSID に使用できる文字は、32 文字以内の半角英数字および記号です。

ヒント 本書の設定値は一例です。実際には環境に合わせた設定を行ってください。

ヒント 本製品の ESSID を変更した場合、本製品と通信する無線 LAN カードのESSID(SSID)も変更する必要があります。手順については、無線 LAN カードの取扱説明書を参照してください。

(1) P.22「4.1 パスワードの確認・入力と本製品への接続」を実行後、「ワイヤレス設定」タブを表示します。

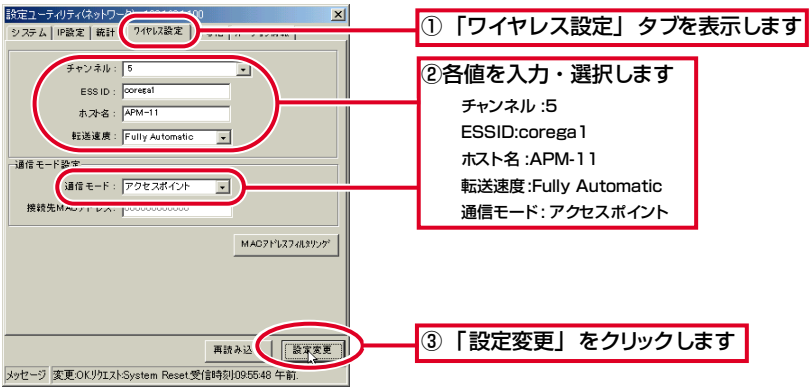


図 4.3.1

(2) P.23「4.2 TCP/IPの設定変更」の (4) から (5) の手順を実行したら設定終了です。

4.4 暗号化の設定をする

ここでは暗号化の設定を以下のように行うものと仮定して説明します。

・デフォルトキー :Key 1	・暗号:64bit WEP	・認証方式:Shared Key

ヒント 暗号化の設定をしなくても本製品はご使用になれますがセキュリティ上変更して使用することを推奨します。

ヒント 暗号化の設定をした場合、本製品と無線通信する無線 LAN カードにも同じ暗号を設定する必要があります。無線 LAN カードの暗号設定については、無線 LAN カードの取扱説明書を参照してください。

ヒント 本書の設定値は一例です。実際には環境に合わせた設定を行ってください。

(1) P.22「4.1 パスワードの確認・入力と本製品への接続」を実行後、「暗号化」タブを表示します。

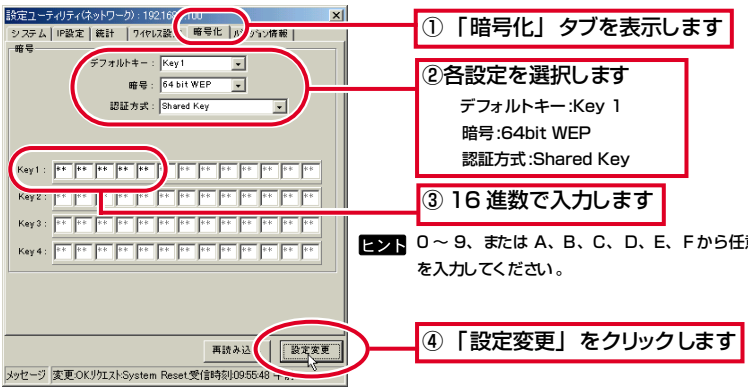


図 4.4.1

(2) P.23「4.2 TCP/IPの設定変更」の (4) から (5) の手順を実行したら設定終了です。

4.5 パスワードを変更する

ここではパスワードの変更を以下のように行うものと仮定して説明します。

・パスワード:password

ヒント パスワードを変更しなくても本製品はご使用になれま すがセキュリティ上変更して使用することを推奨します。

ヒント パスワードを変更したら、次回から本製品に接続する際には「検索用パスワードの設定」画面で毎回必ず変更後のパスワードを入力してください。詳細については、P.23の(3)の手順のヒントを参照してください。

ヒント 本書の設定値は一例です。実際には環境に合わせた設定を行ってください。

(1) P.22「4.1 パスワードの確認・入力と本製品への接続」を実行後、「システム」タブを表示します。

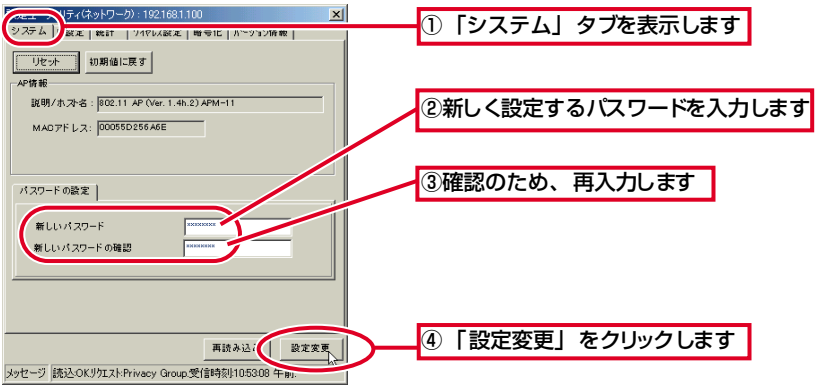


図 4.5.1

(2) P.23「4.2 TCP/IPの設定変更」の(4)から(5)の手順を実行したら設定終了です。次回パスワードを入力する際は、新しいパスワードを入力してください。

4.6 初期設定に戻す

本製品の設定を初期設定に戻す場合、通常は UTP ケーブルまたは無線 LAN カード経由で行うことができます。 通常の方法で本製品に接続できなくなった場合のみ USB ケーブル経由で初期設定に戻してください。

ヒント この作業を行うと今までの設定内容が全て破棄されますのでご注意下さい。

4.6.1 UTP ケーブルまたは無線 LAN カード経由の場合

(1) P.22「4.1 パスワードの確認・入力と本製品への接続」を実行後、「システム」タブを表示します。

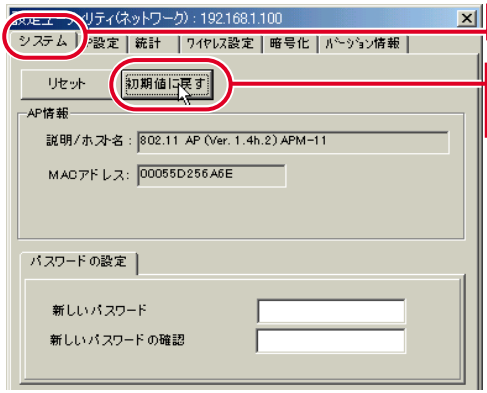


図 4.6.1.1

(2)「はい」をクリックすると初期設定に戻ります。

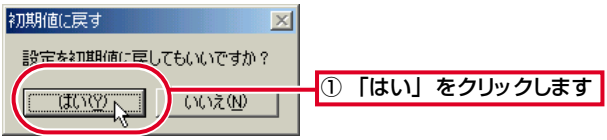


図 4.6.1.2

4.6.2 USB ケーブル経由の場合

(1) 本製品と設定用パソコンが USB ケーブルで接続されていることを確認します。

(2)「スタート」→「プログラム」→「corega Wireless LAN APM-11」 →「初期化ユーティリティー (USB)」を選択してユーティリティーを起動します。

(3) オプションを選択して「開始」をクリックします。

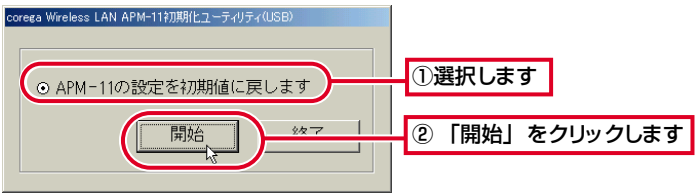


図 4.6.2.1

(4) 砂時計がポインタに変わったら終了です。

図 4.6.2.2

4.7 ネットワークへの接続

本製品で構成される無線 LAN を既存の有線 LAN に接続する際のポイントは以下の通りです。本書では手順の詳細は説明しませんので、以下を参考にしてネットワークへの接続を行ってください。

●既存の有線 LAN 環境に合わせて本製品の TCP/IP を設定すること

参照 本書 P.23「4.2 TCP/IP の設定変更」を参照してください。

●本製品と有線 LAN 側のハブ、スイッチ等を UTP ケーブル (ストレート) で接続すること

●本製品と無線で通信するパソコンの無線 LAN カードに、本製品の設定に合わせた TCP/IP、ワイヤレスの設定をすること

参照 無線 LAN カードの取扱説明書を参照してください。

5 その他

5.1 製品仕様

無線部	
規格	IEEE802.11, IEEE802.11b
適用規格	EMI規格 VCCI Class B
周波数帯域	2.4GHz～2.497GHz
変復調方式	直線拡散型スペクトラム拡散方式(DS-SS方式)
データ転送速度	11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps 自動切替/固定
サービスエリア /伝送距離	屋内50m/屋外150m（11Mbps通信時は、屋内30m/屋外60m）
セキュリティー	64/128bit WEP方式 , ESSID、MACアドレスフィルタリング
チャンネル数	14ch
対応モード	アクセスポイントモード、LAN間接続モード 複数LAN間接続モード、Infrastructureモード
有線部	
サポート規格	IEEE802.3 10BASE-T
有線LANインターフェース	10BASE-T(RJ-45) MDI
USBインターフェース	シリーズBポート
対応プロトコル	TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI
データ転送速度	10Mbps
アクセス方式	CSMA/CD方式
電源部	
定格入力電圧	AC100V(50/60Hz)
消費電力	2.5W（最大2.75W）
消費電流	550mA(送信時) 450mA(受信時)
平均発熱量	2.15kcal/h（最大2.365kcal/h）
環境条件	
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下（ただし、結露なきこと）
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下（ただし、結露なきこと）
外形寸法	139.5(W) x114.5(D)x29.4mm(H) （突起物含まず）
重量	510 g （ACアダプタ含まず）

●適用規格について（EMI 規格 :VCCI クラス B）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

5.2 保証と修理について

□保証について

本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

□修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、巻末の「調査・修理依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品（付属品一式を含む）を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。普通郵便による送付は固くお断りいたします。
- 修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

□ 製品送付先

〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20
（株）コレガ corega サポートセンター宛

5.3 ユーザーサポートについて

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査・修理依頼書」(P.34) をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話によ

る直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査・修理依頼書の記入について」をご覧ください。

Tel:045-476-6268　10:00-12:00、13:00-17:00
月～金（祝・祭日を除く）
Fax:045-476-6294
※番号はお間違いのないよう、よくお確かめの上ダイヤルしてください。

□調査・修理依頼書の記入について

調査・修理依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

●ハードウエアとソフトウエア

本製品上に貼られたラベルに記入されているシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev）を調査・修理依頼書に記入してください。

ご使用になっているソフトウエアの種類／バージョン（Ver.）を記入してください。これらは、ドライバーディスクのラベル上に記入されています。 他社のインターフェースボードやユーティリティーをご使用の場合は全てご記入ください。 接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

●お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容をプリントアウトしたものなどを添付してください。障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

●ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

●最新ファームウェアの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のファームウェアのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のファームウェアは、弊社のホームページから入手することができます。Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザーを使用して、次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.corega.co.jp/
「サポート情報」→「ダウンロード」からアクセスしてください。

● corega Net-News のご案内

「corega Net-News」は、株式会社コレガがお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客様は、corega ホームページでご登録ください。なお、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

5.4 おことわり

本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。

・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2002 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2002 年 06 月　Rev.A　初版

調査・修理依頼書 (corega Wireless LAN APM-11)

年　月　日

一般事項

1. 会社名（個人名）：
   部署名：
   ご連絡先住所：〒

   フリガナ：
   ご担当者：

   TEL:（　　）　　FAX:（　　）
2. 購入先：
   購入先担当者：
   購入年月日：
   購入先 TEL:（　　）

ハードウエアとソフトウエア

1. ご使用のハードウエア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名：corega **Wireless LAN APM-11**　S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Rev＿＿

ファームウェアバージョン　Ver. ＿＿＿

2. ご使用のコンピュータ機種と併用している他メーカーの拡張アダプター(ボード)

コンピュータのメーカ名/機種

OSとバージョン

拡張アダプターのメーカ名/機種

お問い合わせ内容

□別紙あり　□別紙なし
□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

ネットワーク構成図

□別紙あり　□別紙なし
簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

- •ハードウェア本体：製品保証書に記載の“保証期間”で無償保証とします。
  （ただし、本規定の他の条項に準じます。）
- •電源アダプター / 電源ケーブル：1 年保証
- •本体付属品（ユーティリティー CD、UTP ケーブルなど）：3ヶ月保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます）。

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の装置が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製 品 名　corega Wireless LAN APM-11

シリアル番号
（S/N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先

coregaサポートセンター

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-19-20

TEL：045-476-6268

受け付け時間： 10:00 ～12:00/ 13:00 ～17:00
月～金（祝・祭日を除く）

FAX：045-476-6294

販売店様印

※ 本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印が無い場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。